



12月に入りました。今年はずっと暖かい日が続いていましたが、さすがに12月に入ると日に日に寒くなってきました。街ではすっかりクリスマスモードのイルミネーションが煌めく季節となりました。はやいもので今年も残り少なくなってきました。この2024年はみなさんにとってどんな1年だったのでしょうか？



日本漢字能力検定協会は、12月12日を「いい(1)字(2)一(1)字(2)」と制定して毎年、今年を表現する漢字を京都の清水寺で発表しています。みなさんも自分自身を表す「今年の漢字」を考えてふりかえてみるのもいいですね。

冬休み貸出はじまります！

期 間 12月4日(水)より
 貸出冊数 ひとり5冊まで
 返却日 1月15日(水)

※ 冬休み期間の図書館の開館はありません。

12月生まれです！



さいごうたかもり
西郷隆盛

1827-1877

薩摩藩(鹿児島県)に生まれました。
 薩長同盟を結び、倒幕運動で活躍しました。
 戊辰戦争では新政府軍を指揮、江戸無血開城を実現。明治政府の中枢となりますが、征韓論となえ敗れ、帰郷。その後、西南戦争に敗れ自刃しました。



12月といえば...



「34丁目の奇跡」 ヴァレンタイン・デビス 933
 サンタクロースがいると信じていたのはいくつまでだったのでしょうか...。いや、まだいると信じている人もいるかもしれません。老人ホームで暮らすクリスは、自分がサンタクロースだと信じて疑わないのです。マンハッタン34丁目のメイシー百貨店にサンタクロースとして雇われたことから、次々に起こる不思議な出来事。現実主義の親子が夢を持つまでの心温まるクリスマスストーリーです。

「オーギー・レンのクリスマス・ストーリー」
 ポール・オースター 933
 タバコ屋のオーギー・レンの嘘が真実かわからなくなる不思議な世界を描いた本。モノクロの版画の挿絵が独特の世界観を際立たせていて、頭の中で外国映画の一場面のような情景を想像しながら読むことができる短編です。

「思いがけない贈り物」 エヴァ・ヘラー 943
 贈り物のリストをパソコンで管理するサンタクロース。今の時代お人形を心待ちにしている子どもがどれほどいるのでしょうか。現代への風刺も交えながらのストーリーとクリスマスの素敵なお挿絵を味わうことのできる1冊。

「12月25日の怪物」 高橋大輔 386
 サンタクロースのルーツを探して世界中を訪ねる探検家のノンフィクション。キリスト教の世界やさまざまな国の文化を垣間見ることができます。日本のナマハゲも登場します。クリスマスというよりはサンタへの探求心を満たす旅の紀行文。旅は思いがけない出会いと発見があります。

「anのお菓子な時間」 鍋島亜耶 596
 クリスマスといえば、やっぱりスイーツ！。ケーキはもちろんクッキーやマドレーヌなどの焼き菓子から和菓子まで。読んで見て楽しんで、作って食べて美味しい本。